

9月定例会 代表質問

流 暖

質問者 齋藤重雄
所属議員 山本俊明



笠岡駅南の開発につ いて

議員 笠岡ベイシティー構
想については、一体的整備
が困難となり、個別計画に
切りかえるとのことだった
が、その現状をたずねる。
市長 港湾施設の整備につ

いては、県や航路事業者等
と連携の上、新たな待合所
を設置し、諸島住民をはじめ、島外から訪れる人々の
本土と諸島間の安全かつス
ムーズな移動実現を図って
いきたいと考えている。
各種公共施設の整備につ
いては、瀬戸内歴史ミュー
ジウム等の整備案があった
が、将来の財政状況等を考
えると、現時点での事業化
は困難と考えている。

笠岡駅の機能拡充につい
ては、駅の橋上化等の課題
があるので、費用対効果を
考慮し検討を進めている。
幹線道路網の整備につい
ては、現在笠岡バイパス整
備事業の実施中であり、現
国道2号線の大幅な改良は
困難で、干拓地への架橋に
ついては、費用対効果等の
課題が多いと考えている。

ごみ処理施設につ いて

議員 見崎山処分場が使用
できなくなり、新たに3市

2町で共同利用できる処分
場の確保を平成29年度まで
に完成させるとのことだが、
その状況等をたずねる。
市長 岡山県西部衛生施設
組合で目下候補地の選定作
業に取り組んでいる。選定
作業については、一つ一つ
の問題を解決しながら進め
ている。

完成時期については、残
された時間を考えると厳し
いが、平成29年度中の供用
開始を目指したい。
議員 今後予想されるスケ
ジュールをたずねる。
市長 まず地元へ説明を行
い、そして構成市町の議会
等へ報告を行う予定である。
そのことにより、今後の用
地買収や環境アセスメント
等が進んでいくものと考え
ている。

コミュニティバス について

議員 今後、交通弱者を守
る手だてを路線バスのみに
求めるのではなく、コミュニ

ティバスの運行等で補う
考えはないのか。

市長 現状の路線バスにつ
いて、利便性向上により利
用促進を図っていくことを
主眼とし、駅前のバス乗り
場への防風施設の設置、バ
スの乗り方教室等も計画し
ながら、維持していく方針
であるが、今後の乗降客数
等によつては、コミュニテ
ィバス等の交通手段も検討
したい。

議員 国・県等で構成され
た連携協議会のアンケート
の結果によると、沿線住民
の約8割はバスを利用して
いない。したがって、圧倒
的多数が乗らない路線バス
の継続より、交通弱者にど
う対応していくかが求めら
れていると考えるが、どう
か。

市長 アンケート結果の見
直し等については今後の検
討課題であるが、地域事情
や年齢層も考慮し、基本的
には路線を維持することが
大事だと考えている。

会 清 徳

質問者 子三 聰
所属議員 尾裕 順
馬文 越
仁科 三
東川 秀



高齢社会対策につ いて

議員 ①介護保険制度改正
で要支援者への訪問・通所
介護が市町村へ移行するこ
とに伴い、生活支援、介護
予防等をどのように進めて
いくのか。
②改正後の介護給付費の推
移についてたずねる。
市長 ①現在の訪問・通所
介護サービス利用者が不安